

空飛ぶクルマの社会実装展望と事業動向

～万博デモ飛行から商業飛行へ～

— 講師 —

元(株)ANA 総合研究所 顧問

元国土交通省 航空局 安全部長 高野 滋 氏

日 時	2025 年 1 2 月 8 日 (月) 午後 1 時～ 3 時
受講方法	会場受講／ライブ配信／アーカイブ配信(2 週間、何度でもご視聴可)
会 場	紀尾井フォーラム 東京都千代田区紀尾井町4-1 ニューオータニガーデンコート1F

[重点講義内容]

「空飛ぶクルマ」は、最新技術を活用した、電動で3つ以上のプロペラを有し、自動化が進んだ、垂直離着陸可能な航空機を指し、低環境負荷(低騒音、二酸化炭素排出)、低コスト、狭隘な場所での離着陸可能なことから、都市交通を担う空の乗り物として期待を集めています。

世界的に、「空飛ぶクルマ」の開発や社会実装に取り組んでいる企業が数多くある中で、各国政府もこれに協力してきており、2026年に社会実装が始まると予想されています。我が国でも大阪関西万博におけるデモ飛行が行われ、注目をあつめたところです。

本講演では、「空飛ぶクルマ」をめぐる現状と社会実装に向けた状況を整理したうえで、今後の期待・展望と解決すべき課題についてお話ししたいと思います。

1. 「空飛ぶクルマ」の機体の特徴と開発状況など業界の現状
2. 我が国を含む各国政府における、社会実装の支援の状況
3. 「空飛ぶクルマ」による都市航空(UAM: Urban Air Mobility)のコンセプト
4. 「空飛ぶクルマ」の社会実装後の展開・拡大の可能性
5. ANA HD による「空飛ぶクルマ」の事業化検討状況
6. 今後の課題
7. 質疑応答／名刺交換

PROFILE 高野 滋(たかの しげる)氏

1983 年 東京大学工学部卒、運輸省(当時)入省。航空局航空機安全課長、事業安全室長(大臣官房参事官) 運航安全課長、安全部長などを歴任。2019 年 国土交通省を退官、ANA 総合研究所顧問に就任、2025 年退職。国土交通省在任中に「空の移動革命に関する官民協議会」設立に従事したほか、前職においても空飛ぶクルマの事業化・社会実装関係業務に従事。

